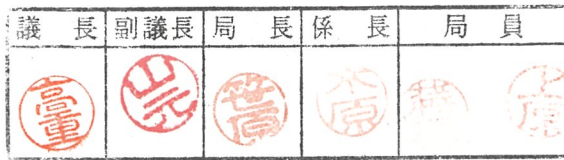


竹原市収受	
竹	号
-7.12.19	
延滞西取	月 日
分類記号	保存年限



資料様式第3号

令和 7年 12月 1日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名

堀越 賢二



視察・調査場 所	京都府京都市南区東九条西山王町1 京都JAビル
期 日	令和 7年 11月 21日 ~ 令和 7年 11月 21日
経 費	51,260円 (研修講座費30,000円・交通費21,260円)
参加者氏名	堀越 賢二
視察・調査目 的	生成AIの正しい理解と、利活用することで得られるメリットを学ぶため
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	講師の木村亮太氏(元枚方市議会議員)の現在の勤務先である、SOCIALXの取組として「逆プロポ」企業が関心のある社会課題を提示し、それに対して自治体が課題解決のための企画やアイデアを提案する共創サービスには、逆転の発想の大切さを実感しました。アンテナを張り竹原市としてもマッチするものがあれば取り組むことが大切だと感じました。生成AIには各社さまざまありますが、一般的に有名なOpenAIのchatGPTがありますがGoogleのGeminiやnotebookLMなどそれぞれ得意分野もあり、組み合わせで利活用し、ファクトチェックやソース元の確認を確実にすることで価値が出てくるものだと感じました。ネット上にある情報を瞬時に収集、整理できる生成AIの技術は、今後必要不可欠になるもので、自身がアップする情報もその一部を担うものになります。膨大なデータをただ単に情報として扱うのではなく、自身がチェックし整理することで生きた情報になると実感しました。
効果・成果等	自身の政務活動に生かせることは勿論ですが、それらが分かりやすく正確なもので有ることは最低限のことですので、議会基本条例が成立し市民への広報広聴活動が必須となります。個人のみならず竹原市議会全体の動きとして「分かりやすく」「見飽きない」「聞き飽きない」状況を作ることが必要になります。生成AIをしっかりと利活用し、政治活動と議会活動をすることで市民の皆さんに少しでも政治参加していただき、竹原市の将来に向けた事業の推進を図っていくことができます。 デジタルだけではなくアナログの大切さも同時に図りながら進めていきたいと強く感じました。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。